

支援プログラム

事業所名：サードプレイス因島

作成日：2026年4月3日

法人（事業所）理念	子どもたちの「居場所」として存在し、一人ひとりの個性と可能性を尊重し、社会の一員として楽しさを感じながら生きていけるように支援します。そして、その支援に関わる人々も共に成長する「居場所」を目指します。	
支援方針	障がいのある児童に対して、日常生活能力の向上及び社会性等の発達を目的として、個々の成長段階に応じた支援を行います。安心して過ごせる環境を整え、ご家庭や関係機関と連携しながら日々の支援に取り組みます。	
営業時間	平日：8時30分 から 18時00分 まで 土曜日：8時30分 から 17時00分 まで	
送迎実施の有無	あり（必要に応じて実施。送迎範囲の制限あり。）	
支援内容		
本人支援	健康・生活	生活リズムの形成、基本的生活動作の支援を行う。 専門的支援として、主に保育士・作業療法士が日常生活動作面を観察・評価し、成長に合わせた支援を行う。
	運動・感覚	体操や遊びを通じた運動支援を行う。また、手指の巧緻活動や感覚を活用した活動等を行う。 専門的支援として、主に保育士・理学療法士・作業療法士が運動・姿勢・感覚面を観察・評価し、個別および集団活動の中で支援を行う。 言語聴覚士も口腔内の動きを観察・評価し支援を行う。
	認知・行動	スケジュール等を用いた見通しの提示および、遊びや活動におけるルールの理解や行動の調整の支援を行う。 外出での買い物や図書館利用等、実際の社会や公共施設の利用を経験し、場面に応じた行動ができるように支援する。 専門的支援として、保育士を中心に他の職員と情報共有しながら支援を行う。
	言語・コミュニケーション	はじまりの会・おわりの会等を通して、挨拶や自己表現ができるように支援を行う。 遊びや集団活動を通して、自分の気持ちや意見が相手に伝えられるように支援を行う。 専門的支援として、主に保育士・言語聴覚士が言語機能やコミュニケーション能力を観察・評価し支援を行う。
	人間関係・社会性	集団活動や外出活動を通して社会のルールを理解するとともに、状況に応じて他者と良好な関係を築けるよう支援を行う。 事業所内においても、挨拶や他の児童への配慮等ができるよう支援を行う。 専門的支援として、保育士を中心に他の職員と情報共有しながら支援を行う。
家族支援	利用時の様子を送迎時や配布物（事業所通信）等を通じて、日常的または定期的に伝え、情報共有を図る。	
移行支援	保護者や学校等の関係機関と連携し、情報共有を図りながら、環境の変化に応じた移行支援を行う。	
地域支援・地域連携	園や学校、相談支援専門員、他事業所、その他の関係機関と連携し、情報共有を行いながら、一貫性のある支援を行う。	
職員の質の向上	外部顧問と契約し、定期的な研修等を実施する。	
主な行事等	季節ごとの地域行事に参加したり、外出して図書館や公園を利用したりする。	